



Share Rotary—
Serve People

みんなにロータリーを
みんなに奉仕を



会長 内山喜一 幹事 齋藤 隆 副会長・クラブ奉仕 佐藤順治 職業奉仕 石川寿男 社会奉仕 佐藤 衛 国際奉仕 三井 健 青少年奉仕 小池繁治

出席報告：会員 76名 出席 62名 出席率 81.58% 前回出席率 69.74% 修正出席 65名 確定出席率 85.53%

会 長 報 告

内 山 喜 一 君

- 本日は今年度の最終例会でございます。会場もこの5階に移し、開会の時間も6時に変更し、気分一新を計った心算の企画をした次第です。
- 先程持廻り理事会に石塚敏彦、御橋義諦両氏の退会届が出され承認されました。
- ニューブランズウィック・ロータリークラブから交換学生として申し入れのありましたムーニー・ティオムシー・ジョン君ですが、派遣が中止になった模様です。追って地区委員会から理由は通達されると思います。その折、又発表させていただきます。
- 尚、例会終了後懇親会を開催致します。S.A.A、親睦委員会、プログラム等各委員会のご配慮によりまして盛会が予想されます。ご期待下さい。甚だ簡単ですが会長報告と致します。

幹 事 報 告

齋 藤 隆 君

1. 国際ロータリー第252地区年次大会の案内
 - と き 9月29日(土)～30日(日)
 - と ころ 仙台市民会館
 - 登 録 料 16,000円
 - 仮申込メ切 7月10日事務局まで
2. 東京上野ロータリークラブ認証状伝達式の案内
 - と き 9月10日(月)
 - と ころ 東京プリンスホテル
プロビデンスホール
 - 登 録 料 15,000円
 - 申込メ切 8月10日事務局まで
3. 例会時間・場所変更のお知らせ

○ 立川ロータリークラブ 創立記念例会のため

と き 6月28日(木) 午後6:30～
と ころ 草薙 白糸の滝ドライブイン
登 録 料 5,000円

4. 日中友好のしんぶん「日本と中国」
6月5日号到着
5. 鶴岡工業高等専門学校より公開講座の案内
 - 講 座 名 「先端技術のあれこれ」
 - 対 象 企業関係者及び一般市民
 - 期 日 9月8日(土)・10月6日(土)・
11月10日(土) 3回 計18時間
6. 活動報告書・年次計画書は今月中事務局まで。

地区協議会出席報告

川 村 徳 男 君

6月23・24日の両日、山形南R.C.のホストで行なわれた地区協議会に、当クラブから総勢9名が出席してまいりましたので、代表してその概況を報告します。

第一日は、次期の分区代理・会長・幹事会でしたが、ホテル・キャッスルで決算見込、予算案、事業計画等の地区報告事項があり、続いて田中ガバナー 齋藤ガバナーエレクトその他地区役員も出席して懇親会が催されました。

第二日は、8つの分科会に分れて、来年度の活動のための勉強会が主体ですが、勉強の成果については、活動計画に反映されるものと思いますし、時間の関係もありますので、割愛させていただきます、全体会議での田中Gと齋藤G・Eのごあいさつにスポットを当ててお話をいたします。

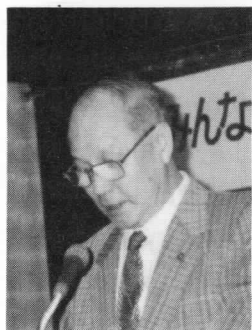
庄内空港の建設を推進しましょう

田中Gは、私などの想像を超える多忙なガバナーとしての日程をこなされてきたのでしょうか、そんな中で、ご自分の職業をゆるがせにしない心くばりは大変なものだったご様子で、会社を、そして多勢の従業員とその家族を気づかう心情がうかがわれ、田中Gの人間性に胸を打たれました。一年を回顧し、ご自身、雨にもまけず、風にもまけずやってこられたのも皆さんの支えがあったからこそで、一年間、ほんとうにありがとう。と結ばれましたが、全知全能を傾け、恐らく精神的にも肉体的にも疲れきったでありましょうご自分をいたわるように、切々と語られる言葉のはしにも、こみあげる感情をこらえるご様子にも、思わず涙がさそわれました。おつかれさまでした、と心から申し上げます。

斎藤G・Eは、カルロス・カンセコR.I.会長エレクトのDiscover a New World of Service (見つけよう 奉仕の新生面)のターゲットについて、新しい世界……それは今まで見失っていた足もとを、ロータリーの基本に立ちかえて見直そうじゃないか、意外と身近かなところに新しい世界がありはしないか、それを開拓して欲しい。と説明されました。そしてイロハから、ABCから始めよう。

会 長 退 任 挨 拶

内 山 喜 一 君



本日待望の今年度最終例会を迎え、お蔭様で任期を終了致します。離任に当たって思い出しますのは、年度の始め、私はこの伝統ある鶴岡ロータリークラブの会長として、果して確かな奉仕が出来るかと、内心翼々としておりました。今、此処に最終例会を迎え実はホッとしております。これが実感です。

省みますと、この一年間の大きな行事として、次の3つを揚げる事が出来ると思います。

其の一つに、20年近く無音に過ぎた姉妹クラブ、

A：アクティビティによって活性化を。B：四つの奉仕部門についてバランスのとれた偏りのない活動を。C：コミュニケーションをよくして友情を深めて欲しい。それにエッチな話ですが、ユーモア(Humor)を加えて、というようなお話でした。最後に、おもむろに右のポケットから赤い花が画いてある種の袋をとり出して、このたねは良い土壌と水と日光、それに温かい愛情がなければ花が咲きません。すばらしい計画も、地域社会に植え込んで丹誠し、花をつけ、実を結ばせて下さいといったあいさつでした。

余談ですが、私が鶴岡R.C.に入会したのが上野会長のときで、ガバナーは加藤さんでした。それから黒沢さん、佐原さん、浜田さん、作田さん、石黒さん、田中さん、と7人のガバナーとの出会いがあったわけですが、これらの人達に比べると、斎藤さんは異色というか、大変ユニークな方だと思います。斎藤G・Eは私に欠けているものをたくさん持っておられる。その意味で非常な魅力を感じますし、感動を覚えました。これからの一年間が楽しみです。

以上で報告を終わります。

ニューブランズウィック・ロータリークラブとの関係の修復であります。これは鶴岡市制60周年記念行事の一環として、鶴岡市が企画したニューブランズウィック市訪問の折、会員新穂光一郎さんもそれに随行し、市同志、クラブ同志の相互協力に依り、元会長デビット・M・ハイライン氏の息子さんデビットA・ハイライン君を鶴岡市の招きで来鶴に成功し、只今在鶴中であること。又、当クラブから交換学生として新穂恵さんがN・B市へ派遣された事等により、姉妹都市、姉妹クラブとして関係が充分完成に近い。

現状は、ロータリーの国際交流という大きな目的を果した事と云えると思います。

二つめは、台中港区ロータリークラブとの姉妹ク

クラブ統盟式。引き続いて三つめ、当クラブ創立25周年記念であります。この統盟式及び25周年記念には、遠く台湾そして鹿児島から、多くの友情溢るロータリアンのご参加を頂き、更に近隣クラブ並びに当クラブ会員ご家族の方々の応援を得、且つ、この行事の特別委員会委員長さん始め全会員のご活躍とご協力に依りまして、大成功裡に一切を無事に終えることが出来ました。尚、私が25代目会長として、創立25周年を祝う事の巡り合せ、この幸せを深く噛みしめ、誠に感無量でございます。これは偏えに皆様方のお蔭と此処に更めて厚くお礼申し上げる次第でございます。

年度の開幕早々公式訪問を受けまして、田中ガバナーより懇切丁寧なご指導・ご教示を賜りまして第一歩を踏み出した次第です。

R.I.会長ウィリアム・E.スケルトン氏の「みんなにロータリーを みんなに奉仕を」のターゲットと田中ガバナーの「共に奉仕する我々の年度」、更に「四本の柱」等の目標を受けまして、以上を総合しての活動計画を立案。特に重点目標として……

- 内部拡大（会員増強）は年度の始め75名。その後退職・転属等の移動による退会者3名。それに伴う後任並びに新入会員併せて6名を数え、現在78名となり、新会員に有力者を得て意を強くしている処であります。
- 外部拡大委員会—今年度新設の委員会です。鶴岡市周辺町村を対象として、新クラブの設立を企画致しました。委員の方々、それに鶴岡西ロータリークラブからも応援を得て、ご尽力を頂きましたが、もう一歩という処で時間切れとなり、次年度へ引き継がれる事となりました。

尚、鶴岡西ロータリークラブから応援の半田茂弥さんの4月27日突然の訃報に接し、委員会としても力を削がれた感深く、誠に残念であり、且つ悲しい思い出となりました。

- 地区広報委員会からの朗報ですが、当クラブ会報の内容・体裁・広報性等総ての面に於いて優れておるとの高い評価を頂きまして、会報奨励賞を受賞致しました。これはクラブとしても初めての事

であります。会報という仕事は誠に厄介であり、ご苦勞のみ多く、委員各位のご精神に対し心から敬意を表する次第です。

- 財団については、前年度に引き続いて今年度更に累積し、第253地区に於いて第2位を獲得し、山形県では勿論第1位であるとして、地区から感謝状を頂いております。これは会員皆様のご協力の賜と誠の奉仕の現れと存じます。
- 毎週の例会は、S.A.A、親睦委員会の細かい配慮のおかげで、和やかな雰囲気の中での会の運営、そして充実した毎回のプログラム等は、各委員会各位のご尽力に依る処と存じます。
- 出席率は誠に残念ながら、修正80%台という事は会の運営を司る者の立場として深く反省しております。
- インターアクト、ローターアクトの不振、これは現代の学校内部の事情に依るものか……現代社会の沈みの反映か。次年度に於いてこの点を特に探求され、再度の隆昌を望む次第です。
- 先に一寸申し上げました交換学生新穂恵さん、目下ニューブランズウィック・ロータリークラブに於いて親善に、友好に、そして勉学に健闘されております。この事は、先方の会長さんから再々のお手紙、又、昨年10月三井徹先生ご夫妻の訪米の折にも、尚、去る5月アメリカから帰国された会員・藤川享胤さんの報告の中にもありました通り恵さんの学業及び生活態度等極めて優秀であるとその評を報しております。この事は私共と致しましても大いなる喜びとするものであります。
- 前述の、鶴岡市の招きで来鶴中のデビット・A・ハイライン君は、国際奉仕三井健さん始め、会員皆様さんのお骨折りで、産業会館の一室を借用し、毎月曜日の英会話教室は、格調高く好評でしたが、5月一杯で終了となりました。再開希望の声も高いようで、その余談を残しておる模様です。以上の通り、今年度は極めて多彩、多忙な行事の中での活動でしたが、各委員会共その目的とする計画を概ね完了された事に深い感銘をもって敬意を表します。

何はともあれ、R.I.会長の掲げられた「みんなにロータリーを みんなに奉仕を」については、他の行事に力を削がれた感があり、及ばなかった事を反省しております。

また、皆様のご希望に充分お応え出来なかった事をお詫び致します。

しかしながら、今日まで一応大過なく過す事の出来たことは、理事、役員を始め会員皆さんと、

山下さんのご協力のおかげと存じます。

尚、誠心誠意クラブの仕事を忠実に処理され、ご協力下さいました齋藤隆幹事さんの、行き届いた心配りに支えられての賜と心から厚くお礼申し上げます。

この一年間のご協力・ご友情に対し感謝すると共に、次年度会長のご健闘をご期待申し上げる次第でございます。

幹 事 退 任 挨拶

齋 藤 隆 君



当クラブに入会して間もない私に、予期もしなかった幹事という大役をおおせつかり、果して会員の皆様のお役に立てるかどうかわからず不安で一杯でしたが、会長さんはじめ理事の方々、会員の皆様には未熟な私をご指導・ご協力をいただき、この一年間大過なく任務を終えることが出来ました。この席上をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、昨年7月の就任あいさつの抱負として、楽しい例会にして行きたいと述べましたが、力不足・経験不足のため意にそわず退任することは大変心苦

しく思っております。又、会員の皆様にはいろんな面でご迷惑をおかけしたのではないかと反省しております。ロータリーの友情でご寛容の程をお願い申し上げます。

この一年間、私にとっては48分の1年間ではありますが、最も貴重な経験、人生の勉強をさせて頂きました。こういう機会を与えて下さいました皆様に心から感謝申し上げます。

最後になりましたが、事務局の山下さんからは、私が当然やるべき仕事の大半をやってもらい、本当にありがとうございました。

簡単ではありますが、幹事退任のあいさつと致します。

一年間大変ありがとうございました。

会長・幹事ねぎらいのことば

嶺 岸 光 吉 君

今日のこの例会が年度の最終例会でございます。この一年間、会長の内山さん、幹事の齋藤さん、一年間大変ご苦労様でございました。会員一同にかわって感謝の意を表します。

一年の行事も見事に達成され、特に姉妹クラブのニューブランズ・ウィックR.C.と20数年来音信がとだ

えておりましたが、その関係の修復、台中港区ロータリークラブとの続盟式、それに三井健さんを特別委員長としてクラブの創立25周年記念式典、大きな行事も盛会裡に終了されました。お二人は昼となく夜となく多勢の会員と親睦と友情の輪をひろげられた年度であったように思われます。

お二人に一年間の労をねぎらい、皆様の絶大なる拍手をお願い致します。

(今週の担当者 齋 藤 昭)